



上) 衣装は寿美さんのお母さんが手づくりしたものほとんど。デザインには沖縄らしさが垣間見えます 右) 全員揃うと70人を超える「和太鼓もりやん」。太鼓6種類と踊り、歌、小芝居で会場を盛り上げます



特集／巻頭

仲良しチームが奏でる元気なリズム

和太鼓もりやん

力強い太鼓の音とにぎやかな子どもたちの声。

体育館で和気あいあいと練習に励むのは

「和太鼓もりやん」のみなさん。

太鼓の音色とユニークな演出、楽しそうに

演じる姿が多くの人々の心を和ませています。

温かい雰囲気がつくる
70人超えの和太鼓チーム

「和太鼓もりやん」(以下、もりやん)は、現在2歳から70歳までの幅広い年齢層で構成される和太鼓チーム。守山文化祭をはじめとする地元の祭りや、ショッピングモールのステージなど、守山区を中心に年間40回ほど舞台に立っています。「出演するのは、ありがたいことに、すべてご依頼をいただいたステージばかりです。多くの人に喜んでもらえてうれしいです」と代表の宇野寿起さんは話します。チーム誕生のきっかけは、小学校トワイライトの太鼓講座で

した。講座は月に1回。「もつと子どもに太鼓を教えてほしい」という保護者からの要望を受け、2006年にもりやんを結成しました。

当初、メンバーは宇野さん夫妻を含め、大人3人と小学生3人。小学生チームだったこともあり、押し付けるのではなく、自主的に太鼓と向き合えるチームを目指しました。「のびのびと太鼓と触れあい、メンバー同士が仲良くなつて、子どもたちの居場所になればという思いでした」と、当時を振り返ります。そんな温かい雰囲気を引き込まれるかのように、人が人を呼び、現在、70人を超えるまでになり

チームワークの良さが一番の魅力です



代表の宇野寿起さんと寿美さん。仲良し夫婦が大家族のようなチームをまとめ、支えています

家族全員で取り組む
楽しい練習の時間

チームのテーマは「仲良く、楽しく、朗らかに」。結成当初の考え方はいまも変わりません。月に3回、2〜4時間の練習をします。「仲間に会いに来るのも楽しみのひとつ」という人が多く、練習中はいつもにぎやか。幼い子どもが広い体育館をのびのびと走り回っていたり、母親が集まって子育て相談会を開催していたりと、思い思いに過ごしています。「さぼっているように見えるかもしれませんが、いつもの光景です」と笑う

が全くいなくても楽しめるチームづくりを心がけています」と宇野さん。演奏中の間違いも、それはその日の演出というように考えます。その堂々とした演奏が見ている人を気持ちよく、元気にさせてくれるのです。太鼓の演奏はもちろん、踊りや小芝居、歌などのユニークな演出も人気の理由です。踊りを創作するのは妻の寿美さん。両親が沖縄出身で母親が琉球舞踊をしていたこともあり、観る人を愉快にさせるアイデアが満載。『名古屋ウィメンズマラソンのときには『三百六十五歩のマーチ』をみんなで踊りました』とほほ笑みます。

地域にパワーを届け続けるもりやん。「守山区全体で活動できることに感謝しています。チ

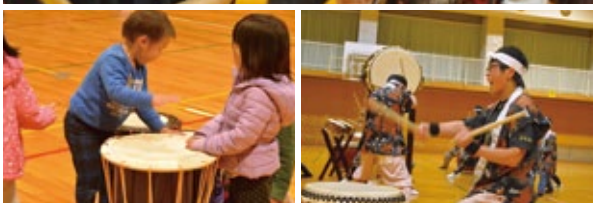
information

和太鼓もりやん

練習場所 長湫公民館／志段味スポーツランド
問い合わせ yookoodoo09rs@kdr.biglobe.ne.jp
facebook「和太鼓もりやん」で検索！

出演情報

2月11日(土)・12日(日) 場所:モリコロパーク
リビング×メーテレマラソンパラダイス2017
2月26日(日) 場所:名古屋市障害者スポーツセンター
めいとう福祉まつり2017
3月12日(日) 場所:未定
名古屋ウィメンズマラソン2017 沿道応援隊



上)「遊んで帰る子もありますが、次第に教えてほしいと言いに来るようになります」と宇野さんは子どもたちの成長を温かく見守ります 下右)小さいころは面倒を見てもらっていた子が面倒を見るようになることも多く、もりやんを通して子どもたちの成長を感じているそう 下左)大きな声を出しながら、力強い音を響かせます